

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
(大和児童館) ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	車いすを必要とする児童と他の児童と一緒に運動遊びをするきっかけづくりとして、スポーツ用の車いすと同じような遊び方ができる「ホイールライダー」を2台購入した。	インクルーシブ遊具を日常的な遊びの場面で使用することで、こどもたちのバランス感覚を養うことができ、車いす利用の理解にもつなげた。	令和7年1月
(栗生児童館) ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	こども基本法等を踏まえ、こどもの意見の尊重や反映の視点から、地域の方々が出席している児童館の運営懇談会に、こどもスタッフメンバーが参加する場面を設け、日頃のこどもたちの活動発表に加え、こどもたちの様々な意見要望も発表した。	こどもたちの要望を受けて、町内会の協力により、児童クラブのサテライト室として借用している集会所にWi-Fi環境が整った。	令和7年2月
(児童館78館) ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	全78館共通で実施した利用者アンケートの回答で、学年を問わず遊ぶことのできる遊具の充実を求める声が多かったため、児童クラブの登録児童数の規模に応じて、空間認識能力を養う知育玩具である「進化系おりがみ・スナップバンド」を購入して各館に配付した。	乳幼児親子から高学年児童まで、幅広い年齢のこどもたちがみんなと一緒に夢中になって作って遊ぶ姿が見られた。	令和7年3月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワークが運営	こどもが舐めた玩具を職員が適宜拭いてはいたが、乳幼児の保護者より、自分で拭きたいのご意見があったことから、保護者が玩具を拭けるようにウェットティッシュを準備して、自分のタイミングで玩具を消毒出来るようにした。	自分のこどもが使用する前に拭くなど、保護者のタイミングで消毒が出来るようになり、喜びの声をいただいた。	令和6年12月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワークが運営	夏季に遊戯室が高温になり、子どもを遊ばせることが出来なかったが、仙台市でエアコンを設置していただき、夏季でも遊ぶことができるようになった。	利用者から遊戯室で遊べないとの苦情が無くなった。	令和6年7月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
生出児童クラブ室 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	クラブ室の一室に移動型のパーテーションを設置しました。	・子どもたちの着替えが必要になったときなどに使用しています。子どもたちはパーテーションがあることで、安心して着替えをすることができています。 ・移動型であることから、乳幼児さんもおむつ替えなどで活用しています。保護者の皆さんからも「安心です。」という声をいただいています。	令和7年1月
市名坂児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	夏休みのプール開放がなくなった小学生、部活動の回数等ゆるくなった中学生のための居場所作り。「エンジョイタイム」と称し、小学校・小学校地域支援本部、児童館支援クラブの協力で初めて実施。	小学生のワークショップを中心とするエンジョイタイム 5日間開催42名参加 中学生のボードゲーム、アクセサリ作り、自由きまま 4日間実施10名参加 スタッフとして総計43名の協力があつた。次年度へ継続発展させる予定	令和6年8月初旬・下旬
仙台市小松島児童館 ※特定非営利活動法人M IYAGI子どもネットワーク が運営	乳幼児親子への図書の貸出期間を1週間から2週間に延長した。	図書の利用がしやすくなったと利用者さんから好評を得ている。 	令和6年4月
幸町南児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	各種行事について参加者への周知のため、ポスターを必要に応じて内外に掲示するようにした。	駐車場に掲示したポスターを見て行事を知ったという参加者が増え、参加数も微増している。	令和7年1月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
幸町南児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	自由来館の名簿に日付を記入するときに困っている来館保護者がいたので、大きな日めくりカレンダーを掲示板に設置した。	円滑に名簿記入ができるようになった。	令和7年1月